

9月1日は

防災の日

～日頃から災害に備えましょう～

9月1日は防災の日です。1923年（大正12年）のこの日に起きた関東大震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風に対する心構えの意味を含め、1960年（昭和35年）に制定されました。

この防災の日になんで家族全員で防災について話し合い、確認しあう、一人ひとりの意識づけが大切です。

また、地震では家具や家電の転倒による被害も多く報告されています。不安定な家具、また、危険なものがないかなど、この機会に是非今一度家の内外の点検をしましょう。

家族でチェック！日ごろからのそなえ

リュックサックなどに入れておき、避難しなければならないときに持ち出す「非常持ち出し品」と、避難後の生活をささえる「非常備蓄品」に分けて、家族みんなでそなえましょう。

非常持ち出し品 チェック！

- ☐ 携帯用飲料水
 - ☐ 食品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
 - ☐ 貴重品（預金通帳、印鑑、現金など）
 - ☐ 救急用品
 - ☐ ヘルメット、防災ずきん
 - ☐ 軍手（厚手の手袋）
 - ☐ 懐中電灯
 - ☐ 衣類（セーター、ジャンパー類）
 - ☐ 下着
 - ☐ 毛布
 - ☐ 携帯ラジオ・予備電池
 - ☐ マッチ、ろうそく（水にぬれないようにビニールでくるむ）
 - ☐ 使い捨てカイロ
 - ☐ ウェットティッシュ
 - ☐ 筆記用具（ノート、えんぴつなど）
- 小さな子どものいる家庭は
- ☐ ミルク
 - ☐ 紙おむつ
 - ☐ ほ乳びん



非常備蓄品（一人分）チェック！

- ☐ 飲料水 9リットル（3リットル×3日分）
 - ☐ ご飯（アルファ米） 4～5食分
 - ☐ ビスケット 1～2箱
 - ☐ 板チョコ 2～3枚
 - ☐ 乾パン 1～2缶
 - ☐ 缶詰 2～3缶
 - ☐ 下着 2～3組
 - ☐ 衣類 スウェット上下、セーター、フリースなど
- ※一人最低3日分は用意しておこう。
※非常持ち出し品、非常備蓄品ともに年に一度はチェックして、新しいものと交換しよう。



！水の確保

一人一日あたり3リットルの飲料水が必要と言われています。いっぽう水は「飲む」だけでなく、「洗う」「消す」「トイレで流す」などいろいろなところで使う必要があります。お風呂の水はいつもはっておくようにしましょう。

！災害にそなえた家族会議をしよう

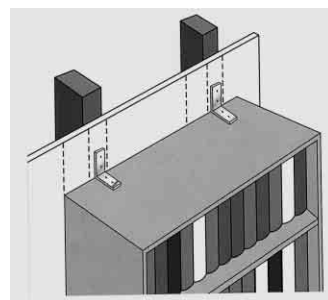
家のまわりの避難場所の確認をはじめ、がけやブロック塀など危険な所のチェック、非常時の連絡方法などをあらかじめきめておこう。

！地域で助け合う

いざというときに助け合えるのはやはり、近所の人たち。ふだんから近所づきあいを大切にし、防災訓練などにはさそいあって参加しよう。地域で助け合うこと、それが自分のサバイバルにつながるのです。

！家具などがたおれるのを防ぐ

タンスや本だな、ピアノなどの家具は地震によってたおれることのないよう、L字型金具などを使ってしっかりとめておこう。また寝ているときにたおれてこないよう、配置を工夫しよう。



ノーマイカーデーを実践しましょう！

「ノーマイカーデー運動」とは、自動車に過度に依存するライフスタイルを見直し、一人ひとりが上手なマイカーの使い方を考え、実践することで地球環境への負荷を軽減し、公共交通機関の利用拡大にもつなげる取り組みです。

役場でも、現在、毎月2回（主に第2・第3水曜日）をノーマイカーデーとして、バスや鉄道等の公共交通機関の利用を推進する取り組みを行っています。

皆さんも時々マイカー通勤をやめて、バスや鉄道などの公共交通機関の利用、相乗りや自転車・徒歩など地球環境にやさしい方法に切り替えてみましょう。